ご使用のしおり　取扱説明書

ご使用前に、この取扱説明書を十分お読みください。
この取扱説明書はお使いになる方が、いつでも見られるところに保管してください。

安全にご使用いただくために

このミシンを、安全にご使用していただくために、以下のことがらを守ってください。
このミシンは、日本国内向け家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY.

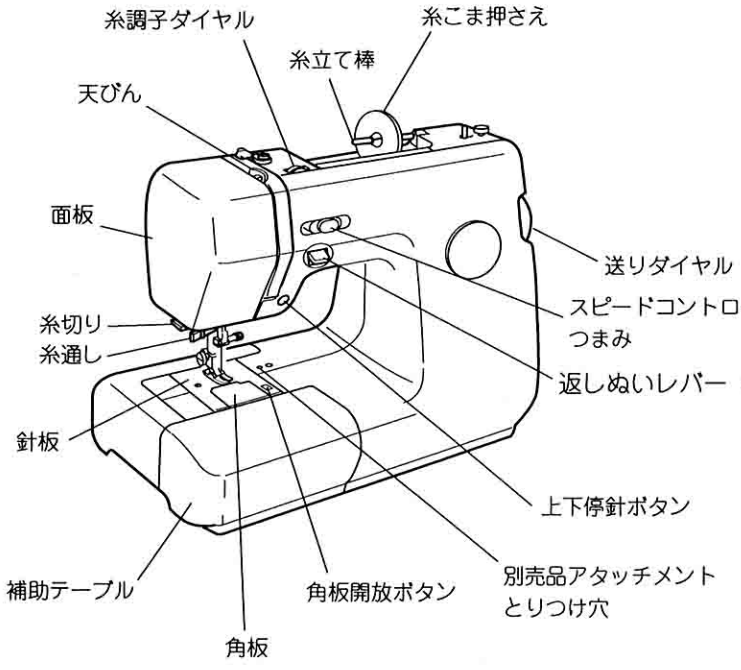
⚠ 警告　感電、火災の恐れがあります。

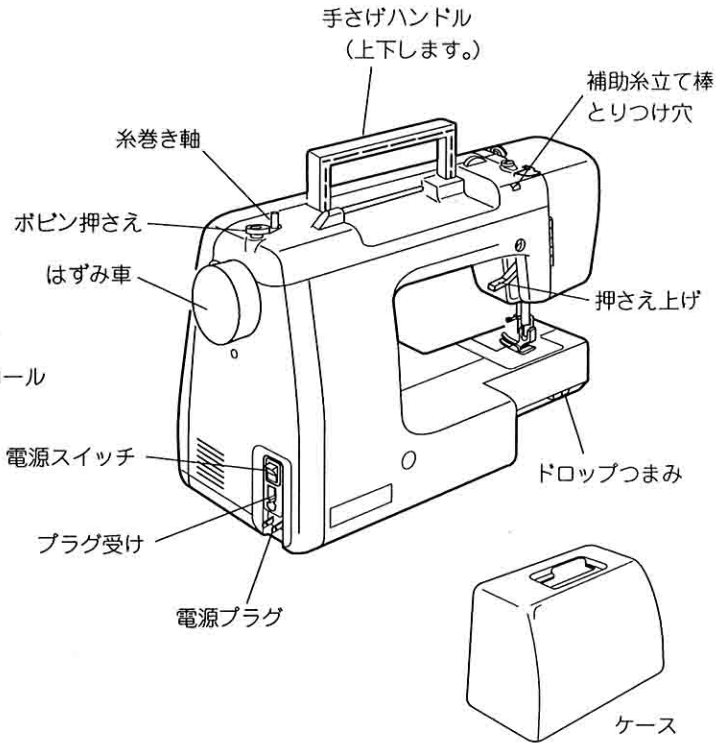
1. 一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。
2. 以下のような時は、電源スイッチを切り、電源プラグを引き抜いてください。
   ・ミシンのそばを離れるとき
   ・ミシンを使用したあと
   ・ミシン使用中に停電したとき

⚠ 注意　感電、火災、けがの原因となります。

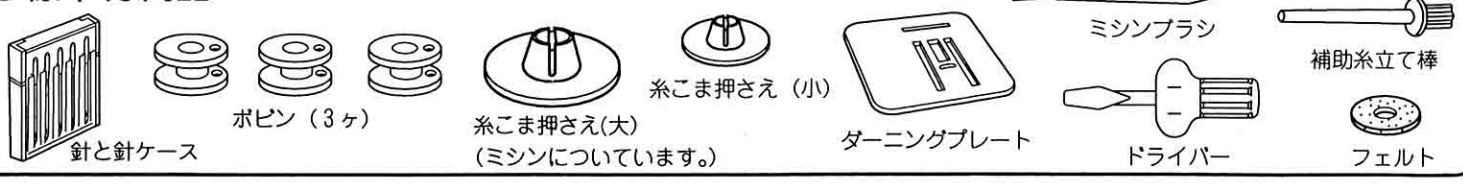
1. お客様自身での分解、改造はしないでください。
2. ミシンの操作時は、面板などのカバー類を閉じてください。
3. ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
4. 曲がった針はご使用にならないでください。
5. ぬいの途中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。
6. 針、及び押さえは確実に固定してください。
   又、押さえはぬいに合ったものをご使用ください。
7. お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。
8. 以下のことをするときは、電源スイッチを切ってください。
   ・針、針板、押さえ、アタッチメントを交換するとき
   ・上糸、下糸をセットするとき
   ・ランプを交換するとき（ランプが冷えてから行ってください）
   ・取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れを行うとき
9. ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止しお近くの販売店にて点検、修理、調整をお受けください。
   ・正常に作動しないとき
   ・落下などにより破損したとき
   ・水に濡れたとき
   ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき
   ・異常な臭い、音がするとき
10. 電源プラグを取扱うときには、以下の点に注意してください。
   ・コンセントから抜くときは、必ずプラグを手で持って抜いてください。
   ・濡れた手で使用しないでください。

●各部のなまえ

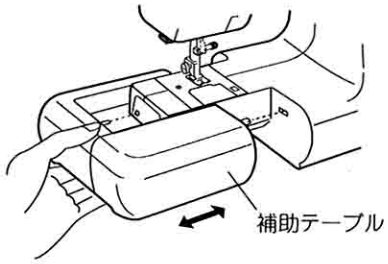




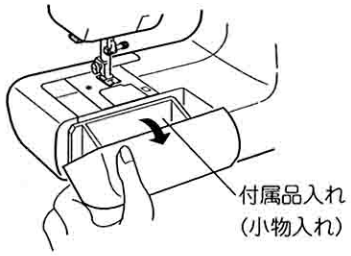
●標準付属品　・・　補助テーブルに収納されています。



●フリーアーム

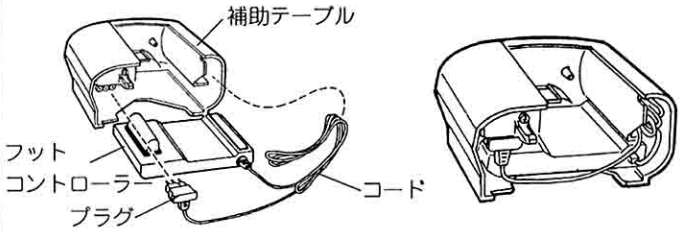


補助テーブルを横に引いて外すと、フリーアームになります。



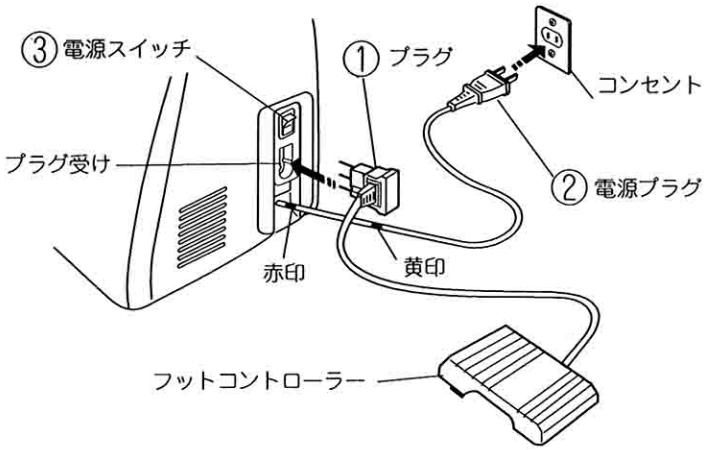
補助テーブルは、小物入れとしても利用できます。

●フットコントローラーの収納



① フットコントローラーの底面を上にして図の向きに押し込みます。
② プラグを補助テーブルに差し込みます。
③ コードを 4 つ折りにして、補助テーブルに収納します。

●電源のつなぎ方



①電源スイッチを切ってから、プラグをプラグ受けに差し込みます。
②電源プラグを引き出し、コンセントに差し込みます。
※コードを引き出した時に黄印が出てきたらゆっくり引いてください。
また、赤印以上は引き出さないでください。
③電源スイッチを入れます。
※電源は一般家庭用（100V 50/60Hz)です
※ミシンを使わないときは、電源プラグを抜いてください。

●スピードの調節

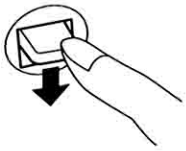
深く踏み込む・・・速くなる
浅く踏み込む・・・おそくなる

フットコントローラーの踏みかげんでぬう速さが調節できます。図のように、静かに足をのせます。重心をかかとにかけて、つま先で深く踏んだり、浅く踏んだりすると、ミシンの速度がかげんできます。

スピードコントロールつまみを左右に動かして、速さの範囲を調節します。

●返しぬいレバー

> ⚠ 返しぬいレバー下げると、ミシンが動き出しますのでご注意ください。



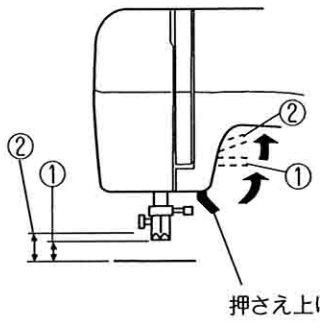
《ぬいはじめの返しぬい》
返しぬいレバーを押すと、ミシンは低速で返しぬいをはじめ、指をはなすと止まります。

《運転中の返しぬい》
ミシンを動かしている途中で返しぬいレバーを押すと、押している間は返しぬいをし、指をはなすと、前進ぬいに戻ります。

●上下停針ボタン

ミシンを止めると、針は下位置で止まります。
上下停針ボタンを押すと、針は上位置になります。
もう一度押すと、下位置になります。

●押さえ上げ

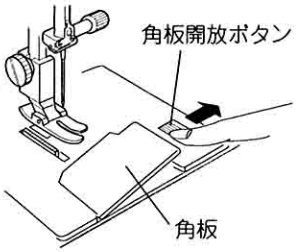


押さえ上げで押さえの上げ下げをします。
押さえを普通にあげた位置よりさらに高くあげると、押さえはさらにあがります。

①普通にあげた位置
②さらにあげた位置

●下糸の準備

★ボビンのとりだし

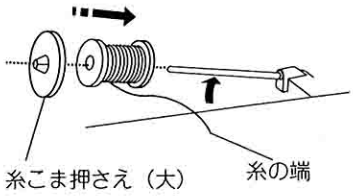


①角板開放ボタンを右に寄せて、角板をはずします。

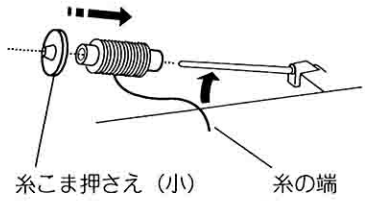
②ボビンをとり出します。

★糸こまのセット

【普通の糸こまのとき】

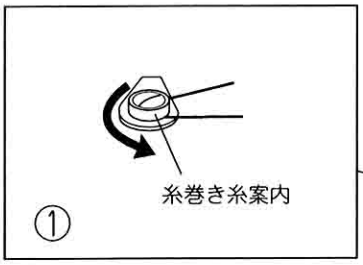


【小さい糸こまのとき】

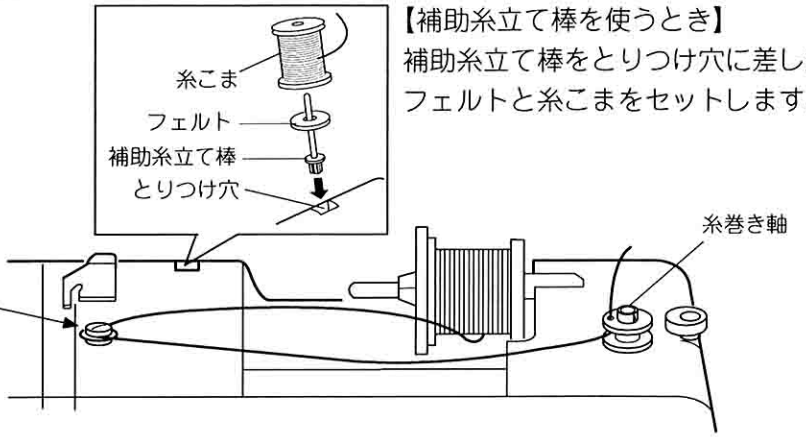


糸立て棒を軽く起こし、糸の端が下から手前に出るようにして糸こまを入れ、糸こま押さえで糸こまを押さえます。

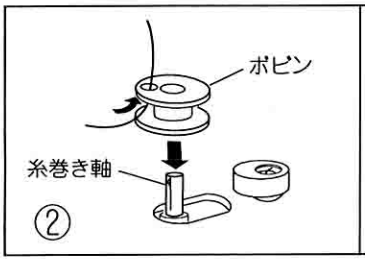
★ボビンに糸を巻く



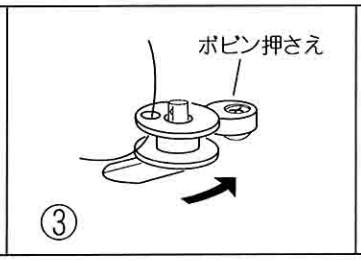
①糸巻き糸案内に掛けます。



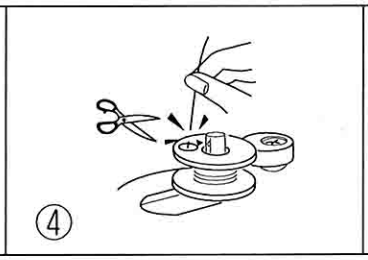
【補助糸立て棒を使うとき】
補助糸立て棒をとりつけ穴に差し込み、フェルトと糸こまをセットします。



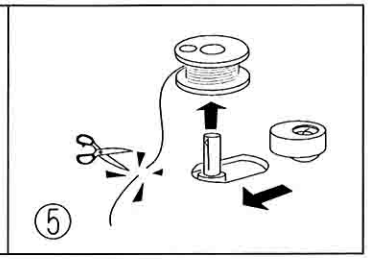
②ボビンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。



③ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。

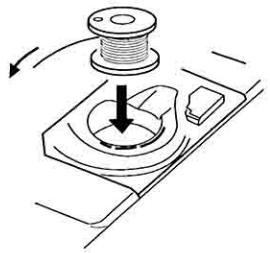


④糸の端をつまんだまま、巻きはじめます。糸がボビンに2重ぐらい巻きついたら、ミシンを止めて穴のきわで糸を切ります。
※糸巻き軸は、必ずミシンを止めてから動かしてください。

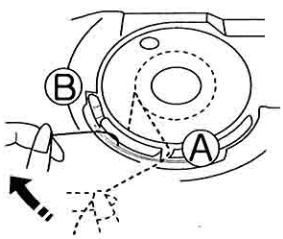


⑤再びミシンを動かし巻き終わったら、ミシンを止めます。ボビンをもとに戻し、糸巻き軸よりはずして糸を切ります。

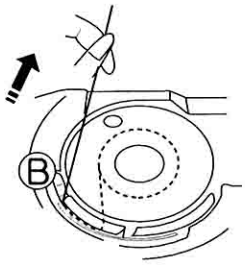
★ボビンのセット



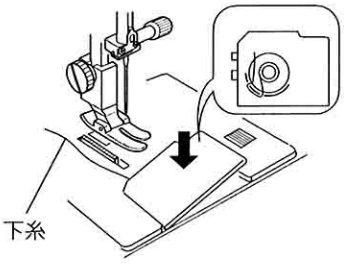
①糸の端を矢印方向に出し、ボビンをかまに入れます。



②糸の端を引きながら、手前のみぞ（A）に掛けます。糸を引きながら左へ移動させ、みぞの外とバネの間を通して、左側のみぞ（B）のところに出します。



③糸を左側のみぞ（B）に掛けるように、向こう側に出します。

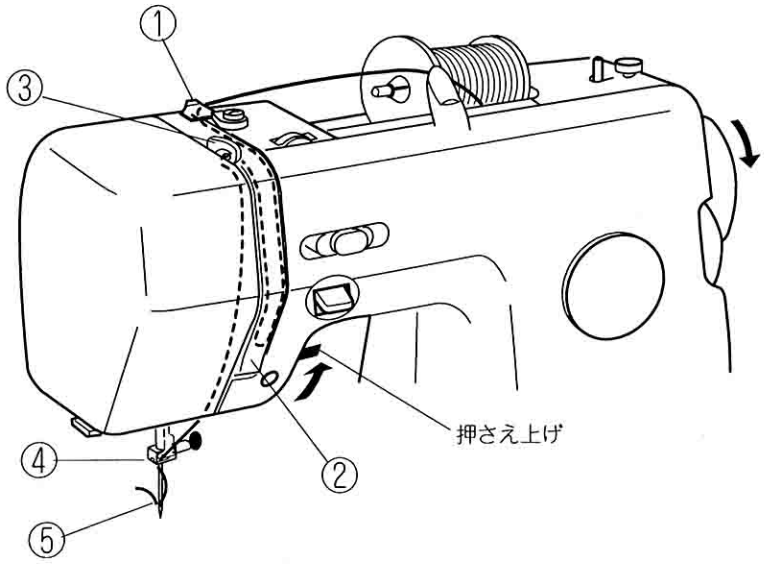


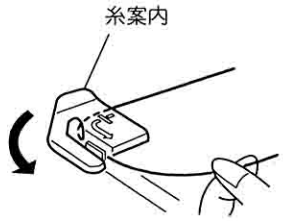
④下糸は、10cmくらい引き出して、角板を左側からあわせて、つけます。

●上糸の準備

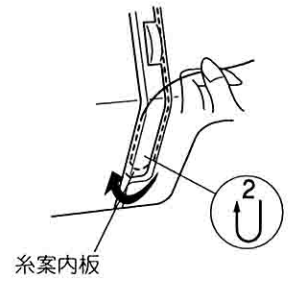
★上糸のかけ方

※糸こまを押さえながら正しく糸を掛けてください。

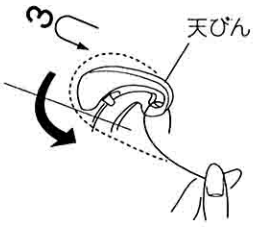




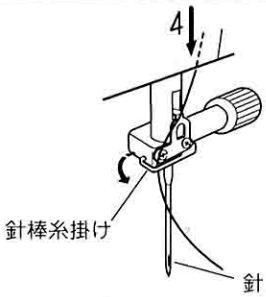
①押さえ上げをあげ、糸を糸案内の向こう側から右側のみぞにそって下におろします。



②糸案内板の下を回して右から左に掛け上に引きあげます。

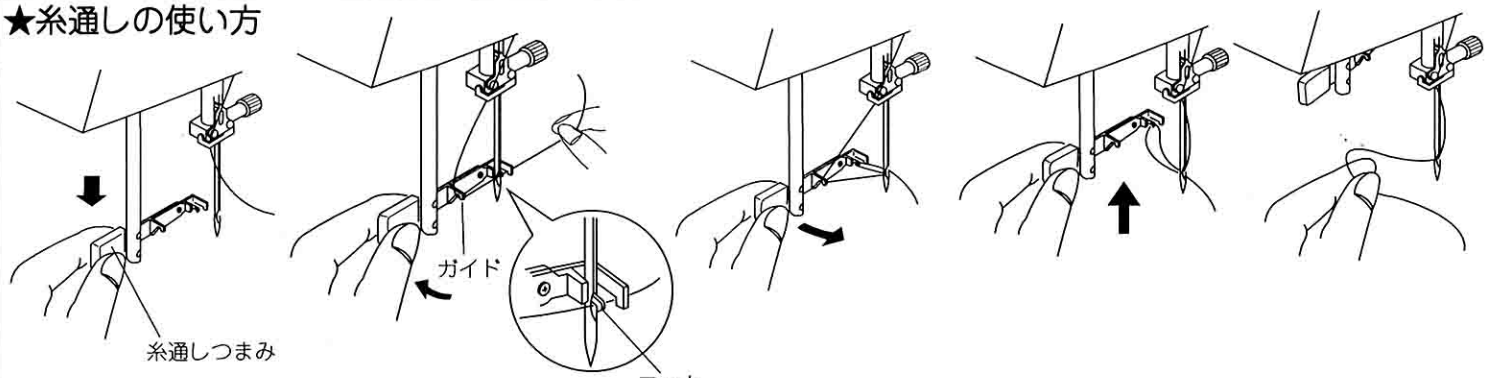


③はずみ車を手前に回し、天びんを上部にします。天びんには、右から後ろを回して左へ出し、手前に引き出してまっすぐ下におろします。



④針棒糸掛けに左から掛けます。
⑤針には糸通しを使って糸を通します。

★糸通しの使い方



①針を一番上にあげて、糸通しつまみを止まるまでいっぱいに引きさげます。

②つまみを矢印方向へまわしてフックを針穴に入れ、糸をガイドとフックにかけます。

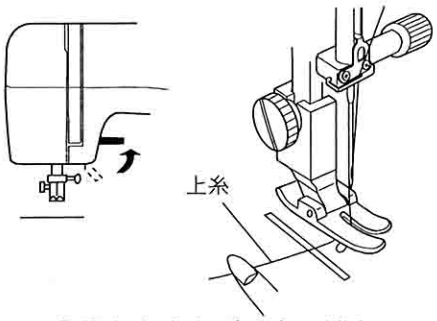
③つまみを矢印方向にまわすと、糸が輪になって出てきます。

④つまみを静かに押しあげ、糸の輪を引きあげます。

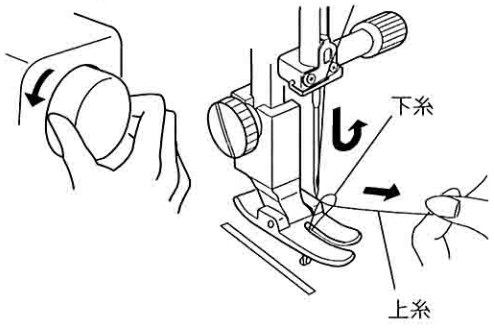
⑤糸の輪を糸通しからはずし、針穴から端を引き出します。

※針は、11番～16番、ジャノメブルー針、糸は50～100番が使えます。針、糸の太さによっては、使えない場合があります。

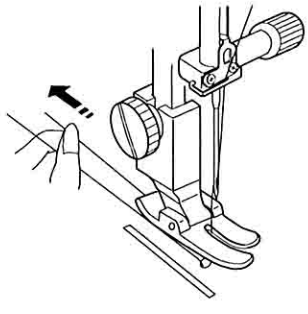
★下糸の引き上げ方



①押さえをあげ、糸の端を指で押さえておきます。



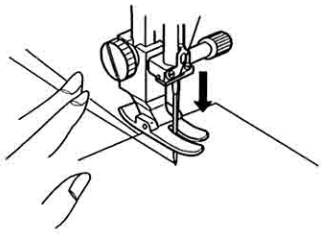
②はずみ車を手で回し上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。



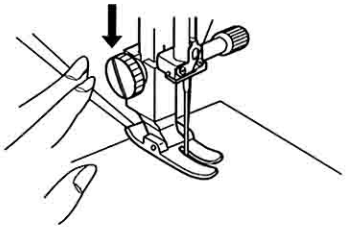
③上糸と下糸を押さえの下にして、後ろへそろえて10cmくらい出します。

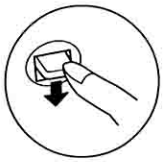
●ぬい方

★ぬい始め



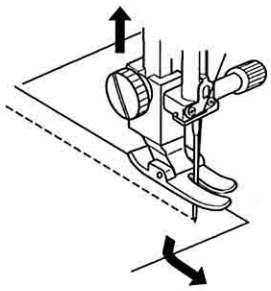
糸と布を押さえ、はずみ車を手前に回し、ぬい始めの位置に針を刺します。押さえをさげて、ガイドラインに合わせてゆっくりぬい始めます。





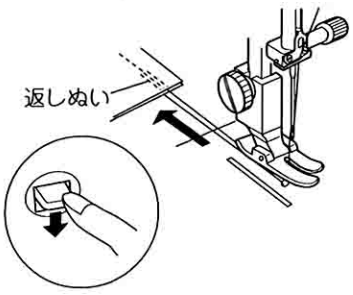
※ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいレバーを使います。

★ぬい方向の変更

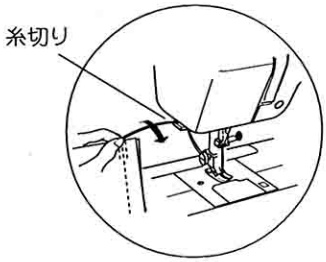


ミシンを止め、針を布に刺し、押さえをあげます。針を刺したまま、布を回して方向をかえます。

★ぬいおわり

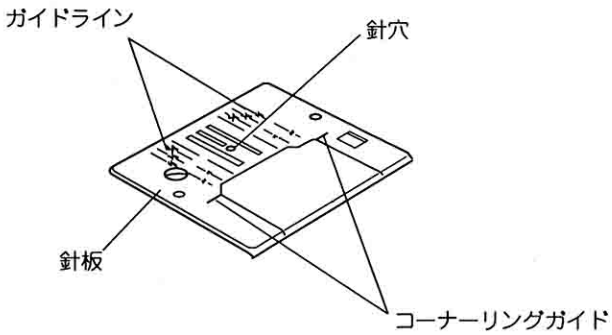


返しぬいレバーを押しながら数針返しぬいをします。
ミシンを止め、押さえをあげて、布を向こう側に引き出します。



【糸切り】
布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切ります。

●針板ガイドラインの利用



ガイドライン・・布端を合わせます。

数字	15	20	4/8	5/8	6/8
周かく（cm）	1.5	2.0	1.3	1.6	1.9

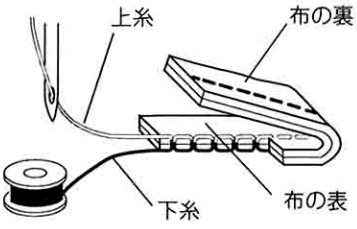
※数字は、針穴からガイドラインまでの距離です。

コーナーリングガイド・・
布端がガイドのところにきたらミシンを止め、針を布に刺したまま押さえをあげ、布を回転させます。
（針穴から 1.6cm の位置です。）

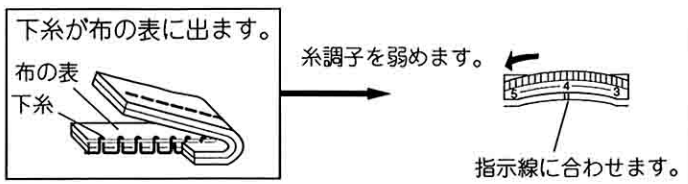
●糸調子の調節

素材やぬい方によって、糸調子ダイヤルを回して調節します。糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなり布にしわがよったり、糸が切れたりします。

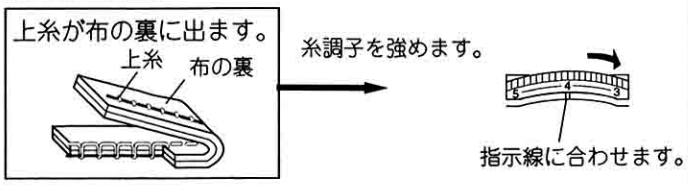
【正しい糸調子】・・・上糸と下糸がほぼ中央でまじわります。



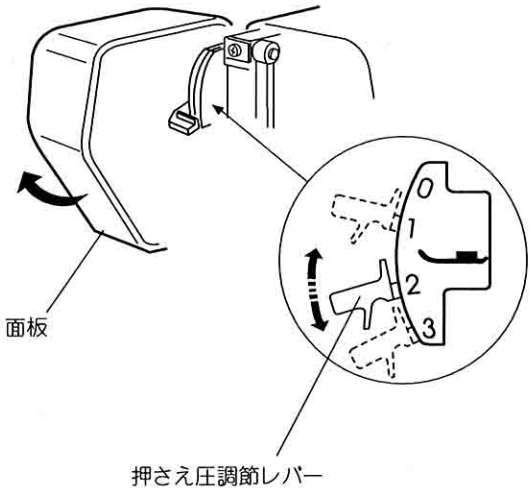
【上糸が強い場合】



【上糸が弱い場合】



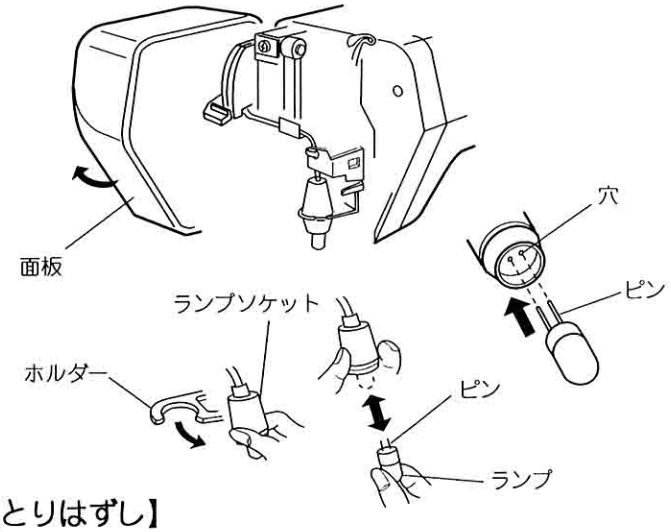
●押さえ圧調節レバー



普通ぬいのときは、「2」。
厚地をぬうときは、「3」。
うす手の化繊地や伸縮性のある布地などは、「１」。

●ランプの交換

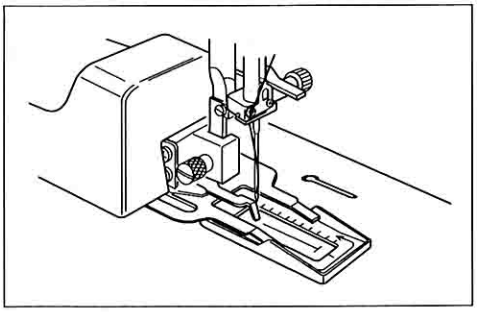
⚠ 電源スイッチを切ってください。
ランプが冷えてから交換してください。



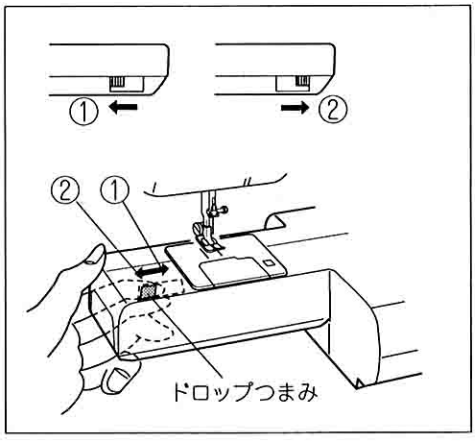
【とりはずし】
①面板を開けます。
②ランプソケットをホルダーからはずして、ランプを引き抜きます。

【とりつけ】
①ランプのピンをソケットの穴に合わせながら、差し込みます。
②ランプソケットをホルダーにとりつけ、面板を閉めます。

●別売品ボタン穴かがり使用時のセット



別売品ボタン穴かがり

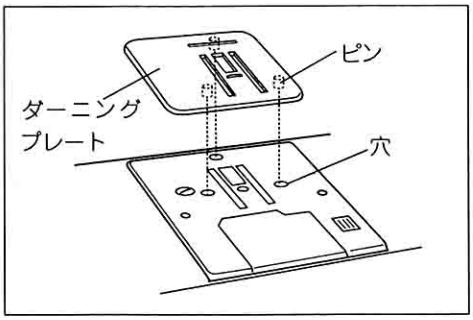


【手順 1】

ドロップつまみを動かし、送り歯をさげます。
※送り歯をさげるとき、補助テーブルをはずして、ドロップつまみを動かします。)

①送り歯をさげた位置
②送り歯をあげた位置

※ぬい終わったらドロップつまみを戻して送り歯をあげておきます。



【手順 2】

ダーニングプレートの裏についているピンを針板の穴に入れます。

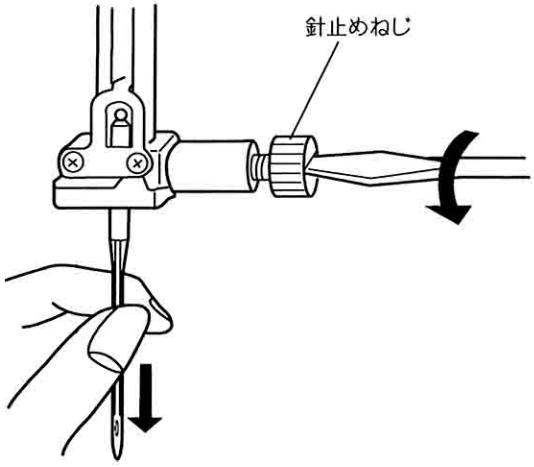
※ボタン穴かがりの付属品針板カバーは使用しません。

※その他のセット方法は、添付の使用説明書をごらんください。

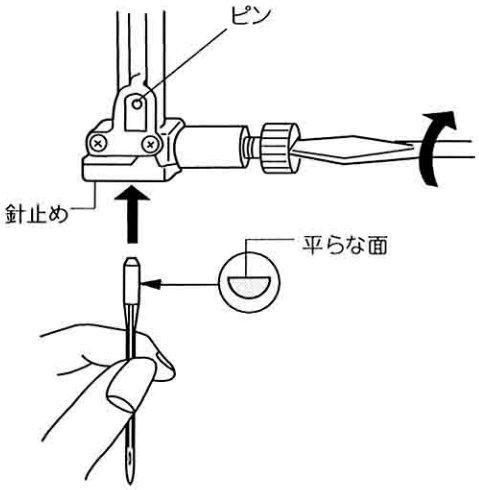
●針のとりあつかい

★針のとりかえ方

⚠ 針のとりかえは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。



①針止めねじを手前に１～２回まわしてゆるめ、針をはずします。

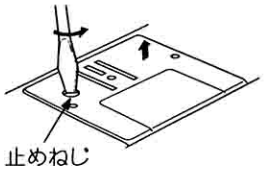


②針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをかたくしめます。

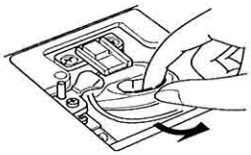
●ミシンのお手入れ

⚠ お手入れのときは必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。

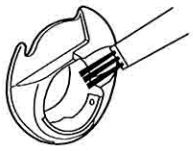
★かまと送り歯の掃除



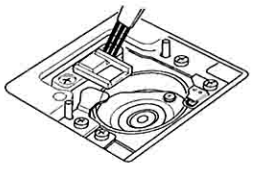
①針と押さえをはずします。針板止めねじをはずして、針板をはずします。



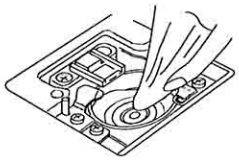
②ボビンをとり出し、内がまは手前を上に引きながらはずします。



③内がまをブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。

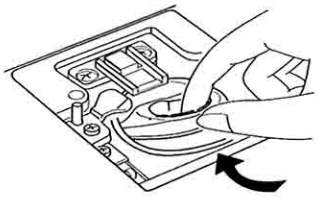


④送り歯のごみをブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。

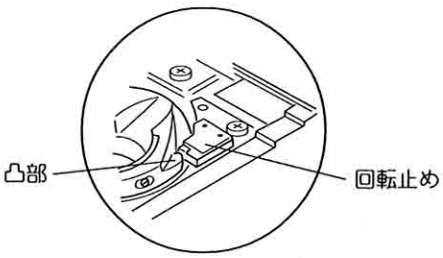


⑤外がまの中央部を布切れで軽くふきます。

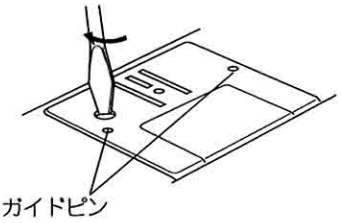
★内がまと針板の組みつけ



①内がまを差し込みます。



②内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。



③２箇所の針板ガイドピンに針板ガイドの穴をあわせ、止めねじをしめます。

●ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる。	1 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の場所にからみついている。 2 上糸調子が強すぎる。 3 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4 針のつけ方がまちがっている。 5 ぬい始めに、上糸と下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 6 針にくらべて糸が太すぎるか、細すぎる。	上糸を正しく掛け直す。 糸調子ダイヤルを弱める。 針を交換する。 正しくつける。 上糸と下糸をそろえる。 適切な針や糸を選ぶ。
下糸が切れる。	1 ボビンの入れ方がまちがっている。 2 下糸の通し方が、まちがっている。 3 内がまの中に、ごみがたまっている。 4 ボビンにキズがあり、回転がなめらかでない。 5 内がまにキズがある。	正しく入れ直す。 正しく通し直す。 内がまの掃除をする。 ボビンを交換する。 内がまを交換する。
針がおれる。	1 針のつけ方がまちがっているか、針がまがっている。 2 針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 3 布にくらべて針が細すぎる。	針を交換する。 針止めねじをしっかりしめる。 針を交換する。
ぬい目がとぶ。	1 針のつけ方がまちがっているか、針が曲がっている。 2 布に対して、針と糸があっていない。 3 伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、市販ＳＰ針を使っていない。 4 上糸のかけ方がまちがっている。	針を交換する。 適切な針や糸を選ぶ。 SP針を使う。(別売) 上糸を正しく掛け直す。
ぬい目がしわになる。	1 上糸調子があっていない。 2 上糸と下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分にからみついている。 3 布にくらべて針が太すぎる。	糸調子ダイヤルを調節する。 糸を正しく掛け直す。 針を交換する。
ミシンがまわらない。	1 コンセントに、プラグがきちんと差し込まれていないか、つなぎ方がまちがっている。 2 かまに、糸やごみがたまっている。 3 糸巻き軸が、下糸を巻いたあと元に戻っていない。(糸巻き状態になっている。)	正しく差し込む。 かまの掃除をする。 糸巻き軸を戻す。

修理サービスのご案内

● お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保存してください。

● 無料修理保証期間内(お買い上げ日より一年間です)およびそれ以降の修理のつきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

● 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後８年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

● 取扱説明書に従って、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過した後でも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。

ただし、次のような場合は修理できないときがあります。

1）保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
2）浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
3）お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
4）お買い上げ店、又は当社の指定した販売店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
5）職業用等過度なご使用により不調、故障、または損傷したとき。

●長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。

●有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

仕　様	
使用電圧	100V　50/60Hz
消費電力	55W / ランプ 3W
外形寸法	幅 42cmX 奥行 17cmX 高さ 30cm
重　量	8kg
使用針	家庭用　HA X 1
縫速度	毎分 700 回転

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

お客様の相談窓口

お問い合わせのある場合には、下記にお申し付けください。

株式会社　ジューキ
東京都千代田区九段北 1 - 11 -11
TEL. 03-3265-2851